

# 規制対象範囲について

---

# 次期燃費基準の対象車両区分(案)

➤ 次期燃費基準の対象車両は、乗車定員9人以下及び乗車定員10人以上かつ車両総重量が3.5トン以下の乗用車とする。

	乗車定員	車両総重量
乗用車	9人以下	3.5t以下
		3.5t超
	10人以上	3.5t以下
		3.5t超
貨物車	—	3.5t以下
		3.5t超

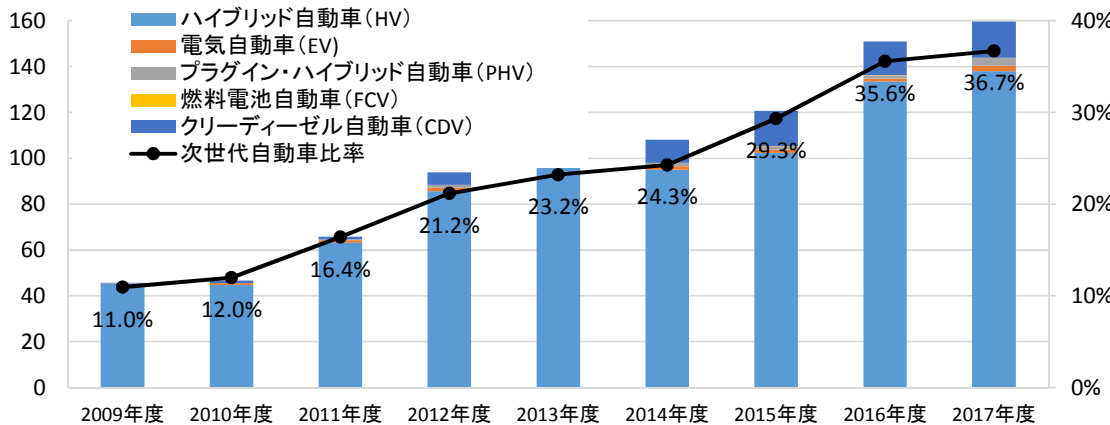
※ 型式指定自動車以外の乗用車は対象外（例：福祉車両、輸入自動車特別取扱制度（PHP）の対象自動車等）  
※ 2020年度基準策定時は乗車定員10人以下及び乗車定員11人以上かつ車両総重量3.5トン以下としていたが、WLTP受入れに当たり、乗車定員10人の3.5トン超の乗用自動車を除外している。

# 燃費規制における次世代自動車の取扱いについて(案)

- 従来から規制対象となっているガソリン車、LPガス車、クリーンディーゼル自動車に加えて、電気自動車・プラグインハイブリッド自動車は今後相当程度普及が見込まれることから、新たに規制対象とすることが適当。
- 燃料電池自動車は、現時点では車種が限られ、基準策定に必要な技術開発を予想することが難しいこと等から、基準策定においては考慮しないこととする。但し、長期的な視野に立って燃料電池自動車の導入への取り組みを適切に評価する必要がある。

(万台)

次世代自動車販売台数



次世代自動車の普及目標

	2030年
従来車	30~50%
<b>次世代自動車</b>	<b>50~70%</b>
ハイブリッド自動車	30~40%*
電気自動車 プラグインハイブリッド自動車	20~30%*
燃料電池自動車	~3%*
クリーンディーゼル自動車	5~10%*

【出所】次世代自動車戦略2010

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度 (万台)	2017年度 新車販売に 占めるシェア
HV	6.5	6.1	8.9	8.9	11.0	45.2	44.8	63.1	85.7	101.5	95.1	102.4	133.5	138.0	31.7%
EV	0	0	0	0	0	0.2	0.7	1.1	1.4	1.6	1.5	1.3	1.3	2.4	0.5%
PHV	0	0	0	0	0	0	0	0.4	1.3	1.3	1.5	1.5	1.4	3.4	0.8%
FCV	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0.05	0.12	0.07	0.02%
CDV	-	-	-	-	0.2	0.4	1.1	1.2	5.6	7.8	10.0	15.4	14.7	15.8	3.6%

出所: 日本自動車工業会等のデータを基に経済産業省作成

# 次期燃費基準における各車種の取扱いについて(案)

目標年度 (基準年度／告示施行年度)		2010年度基準 (1995年度／1998年度)	2015年度基準 (2004年度／2006年度)	2020年度基準 (2009年度／2011年度)	次期燃費基準 (案)
従来車	基準設定	○	○	○	○
	達成判定	○	○	○	○
ハイブリッド車	基準設定	×	△	○	○
	達成判定	○	○	○	○
クリーンディーゼル自動車	基準設定	—	△	△	○
	達成判定	—	○	○	○
電気自動車 プラグインハイブリッド自動車	基準設定	—	—	—	○
	達成判定	—	—	△	○
燃料電池自動車	基準設定	—	—	—	—
	達成判定	—	—	—	△

「—」；規制対象外

基準設定：「○」；トップランナー車の候補とする。  
 「△」；トップランナー車の候補とはしないが、技術改善要因として考慮する。  
 「×」；トップランナー車の候補とはせず、技術改善要因としても考慮しない。

達成判定：「○」；企業平均燃費値の算定の対象とする。  
 「△」；一定条件を満たす場合に、企業平均燃費値の算定の対象とすることを可能とする。